

(1 / 2)

2025年7月25日

ミライバレーコンソーシアム

## 450年の時を越えて、躍動が“透けて見える” 大阪・関西万博で長篠陣太鼓 × 最先端「運動透視テクノロジー」共演決定 戦国の息吹が万博に響き渡る —— 技術が伝統芸能と共に新たな舞台へ

愛知県新城市・長篠陣太鼓保存会による伝統的な和太鼓演奏が、現在開催中の大阪・関西万博にて披露されることが決定しました。

今回の演奏は、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学（以下、名古屋大学）がムーンショット型研究開発事業の一環として開発を進めている「運動透視テクノロジー」と長篠陣太鼓保存会の初のコラボレーションです。450年の歴史を持つ伝統芸能の再現にとどまらない、演奏者の“身体の内側”が可視化され、観客に新たな視点からの体験を提供する、かつてないパフォーマンスが実現します。

この技術「運動透視テクノロジー」は、筋肉の動き、骨格のダイナミクス、重心の変化といった、通常は目に見えない人間の運動の本質を、まるで身体を透かして見るかのように捉えることが可能です。治療法が確立されていない神経疾患の研究や予防医療への応用が期待されている最先端技術が、今回は文化芸能と出会い、新たな表現の可能性を拓きます。

舞台では和太鼓の鼓動と連動した、筋肉が波打ち、骨格がしなり、重心が移動する様子が裸眼 3D ディスプレイを通じてリアルタイムに映し出されます。

太鼓の「音」を「動き」として見る——そんな体験が、来場者にまったく新しい感動をもたらすことでしょう。

長篠の戦いから450年。

激戦の地で育まれた伝統の陣太鼓と、未来の医療を変えるかもしれない先端科学が融合する一日を、ぜひ万博の会場で体感してください。

※名古屋大学が幹事組織であるミライバレーコンソーシアムは、医療・健康・ライフスタイルの分野における、新しい行政サービスの創造と、地域の成長に貢献する産業の創出を可能にし、日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生の実現を目指して活動しており、今回のコラボレーションを協賛しています。

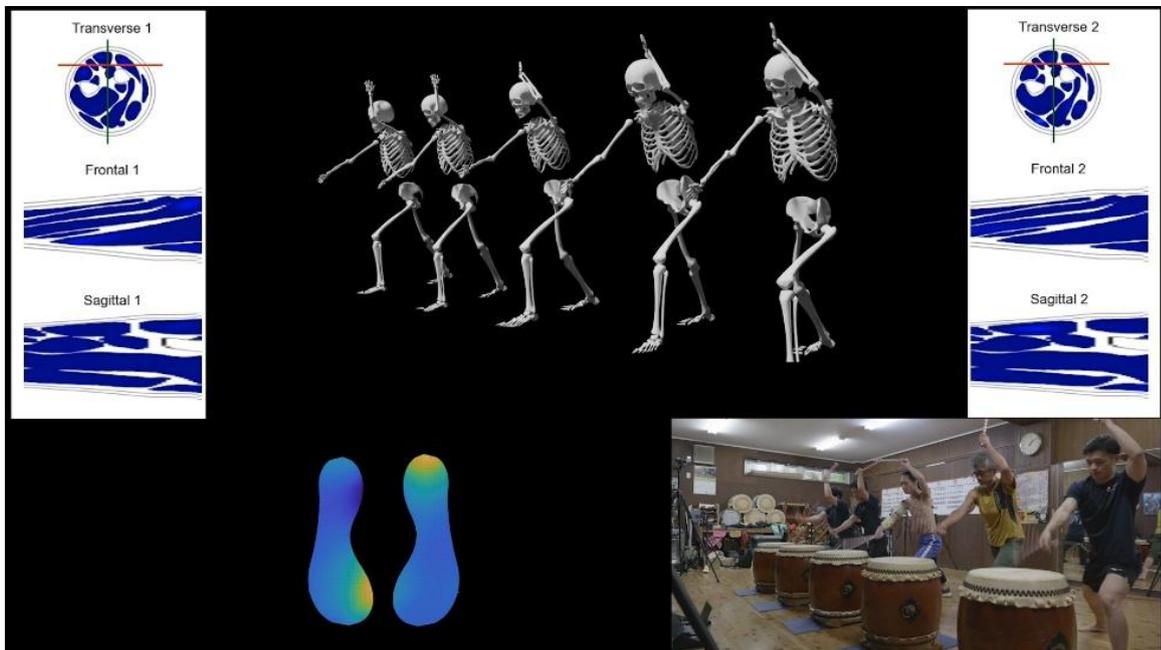
### 記

日時 2025年8月2日 10:30~11:00

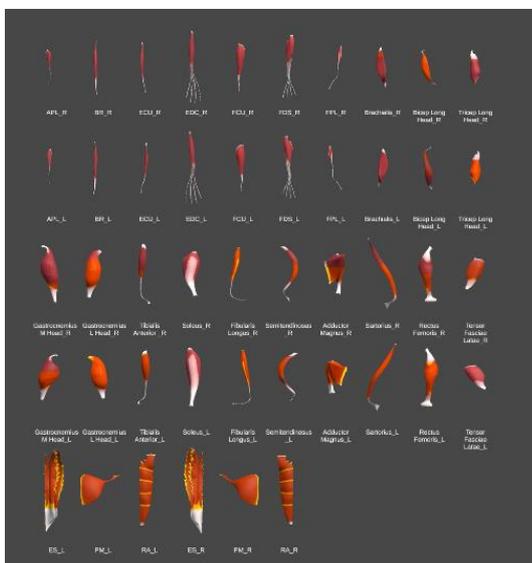
場所 大阪・関西万博 フューチャーライフヴィレッジ内 ステージ

<https://www.expo2025.or.jp/future-index/future-life/flv/>





和太鼓演奏の様子を、カメラ 8 台を用いて撮影すると同時に、全身の筋活動、足底圧を計測することで、和太鼓演奏者の運動を完全透視します。



筋肉一つ一つを個別に観察するシステムを開発し、運動の様子を正しく観察することで、リハビリテーションでの回復などが分かりやすくなります。

以上

### 【問い合わせ先】

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学内

ミライバレコンソーシアム事務局 担当：吉川・沖原・野木

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 NIC(ナショナルイノベーションコンプレックス)

E-mail: [omv@mirai.nagoya-u.ac.jp](mailto:omv@mirai.nagoya-u.ac.jp)